

8-4-18 I T S 専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

専門委員会を9回（4、5、6、7、8、9、11、12、1月）開催した。専門委員会を開催しない月もE-mailを活用し、協議と情報交換を実施した（WGの月次報告、指示事項の周知・対応等）。

(2) 勉強会・活動報告会

webセミナー方式で、年次報告会・勉強会を実施した。

将来のモビリティとして期待されている空飛ぶクルマやMaaSに着目して、以下2名の有識者を招き、ご講演頂いた。

- ・慶応義塾大学大学院 SDM 研究所顧問
（システムデザイン・マネジメント学科 元教授） 中野 冠 様

演題：空飛ぶクルマの現状

- ・一般財団法人 計量計画研究所 理事兼研究本部企画戦略部長 牧村 和彦 様

演題：MaaS時代の交通まちづくりとデータ連携 ～建設コンサルタントの役割と期待～

(3) WG 活動

a) ITS に関わる技術、施策の調査

交通・ITSに関連する新たな技術的・社会的な潮流であるAIおよびMaaSに着目し、最新動向を収集するとともに、今後、建設コンサルタントが取り組むべき課題等を整理した。

- ・ AI 技術に関する今後の建設コンサルタントの役割として、教師データの抽出、従来手法と AI 手法の使い分け・組合せ活用、効果的な活用方策や改善提案等を整理
- ・ MaaS に関する今後の建設コンサルタントの役割として、企画・全体計画立案、実証実験、MaaS 運用、システム開発、データ解析等を整理

b) ビッグデータの活用可能性検討

近年各所で取得・蓄積並びに活用が進んでいるビッグデータについて、主に交通分野に関する

最新動向を調査し、ビッグデータの活用可能性を検討した。

- ・ ビッグデータを提供する各社に個別問い合わせを行い、詳細を確認し、ビッグデータカタログの深化を実施
- ・ 活用ニーズからビッグデータを逆引きできるカタログ（プロトタイプ）を作成

c) ITS を活用した次世代モビリティの調査

新型コロナウイルス感染拡大での新たな生活様式や、デジタル化の推進等、近年の世の中の変化に伴い、ITS 分野・デジタル交通分野における新たな取り組みを調査し、国内での次世代のモビリティの方向性を検討した。

- ・ マイクロモビリティ等、個別化していくニューモビリティの最新動向
- ・ 地域生活や都市活動を支える自動配送ロボット
- ・ 次世代モビリティとしてのドローン
- ・ 海外の事例・ウィズコロナにおけるモビリティの方向性
- ・ 新たなモビリティ活用に向けた法改正の動向

2. 次年度の活動について

次年度も今年度の検討テーマを継続して検討し、以下の活動を実施する。

- ・ WG の定例的活動
- ・ WG 以外の ITS に関連する諸テーマの検討
- ・ 上位委員会からの指示事項への対応や関連委員会、SWG 等と連携した検討
- ・ 勉強会・講演会の開催

（I T S 専門委員会委員長 松本 章宏）